

令和4年度北海道岩見沢高等養護学校 第2回学校運営協議会記録

1 日 時 令和4年12月16日（金） 10:00～

2 場 所 北海道岩見沢高等養護学校 会議室

3 次 第 司会進行：橋本教頭 記録：総務部

	開会
10:00～10:10	校長あいさつ 日程説明（橋本教頭）
10:10～11:50	説明と協議 (1) 令和4年度学校評価について（橋本教頭） (2) 地域とつながる教育活動について ・東小学校の本校見学の様子（橋本教頭） ・地域とつながる教育活動 質疑応答 協議「地域とのつながりを深め、広げる学校」について
11:50～	校長あいさつ 諸連絡

[校長挨拶]

皆様のご協力により、教育活動をすすめ、ここまでできている。生徒たちは着実にコロナ禍で行事や日常のつながりの中で学習活動の積み重ねをしてきた。これからも、学校便りやHPで生徒の活動を紹介していきたい。

最近では、昨日、第5回ミラコン全国大会が行われ、3年生の生徒が北海道、東北地区代表として出場。スポーツを通して健常者も障がい者も垣根なくつながれる共生社会を作っていけると良いという発表で熱意賞を受賞した。また、アイススレッジで2年生の生徒が取り組んでいる。

前回いただいたつながりをもとに来年度へとつなげていきたい。

(1) 令和4年度学校評価について（教頭）＜別紙資料＞

評価項目は令和2年度に大きく変更したため、今年度もそのまま使用。

教職員と保護者の項目を合わせ、比較できるようにしたり、項目を整理したりした。

もっとも改善を要する項目、評価されている項目をさらっていく。また、昨年度とも比較し改善につなげていく。

今後のスケジュールは、集計後、分析、考察をすすめる。昨年度より、集計は Google フォームを活用し、集計や分析の時間短縮となっている。

2 月上旬の第 3 回学校運営協議会において学校評価についてご意見をいただきたい。

黄瀬) 保護者の回収率は？

教頭) 昨年度は 5 割。例年は 6～7 割。Google フォームで混乱が生じたかと思われる。

今年度は紙面と Google の両方で行っている。現在のところ、昨年度よりも回収率は良い。

教頭) 学校評価で参考にできることがあれば、お聞かせください。

村上) Google フォームを活用し、記名式。活用初年は回収率は下がる。記名にしても下がる。回収率を上げる方法として参考になった。連携という部分で発信が見られないという意見があったので、保護者にも紙面とともに携帯に残るようにしていこうと考えている。

内田) どう答えたらいいとか、忙しいからという人もいるが積極的に関わっていかなければいけないと感じている。

横山) 配付するだけではなく、アンケートの重要性を説明すると、回収率が上がってくるかもしれない。

校長) 全道一区で他校に比べると全体懇談が少ないと感じている。説明の機会がないまま気づいた。そのような機会をつくるとよいと思う。

三好) 手間がかかるが実践に生かしていくことは大事。Google の利点と改善点があるので、いろいろな工夫をされていくのかと。自身も参考になった。

村上) 全道一区と言うことだが、PTA 活動はどのようなことをされているのか？

教頭) 役員会では教育活動について意見をいただいている。また、二つの係に分かれ、研修では福祉制度について学び、申し立て書の書き方など具体的に行う場を設けたり、卒業生の話を進路別に直接聞く研修会を開催した。コロナ以前は地域の施設見学なども行っていた。広報係は学校祭でのイベント開催や、どさんこ通信を年 5 回発行するなど精力的に活動されている。

今年度は PTA 合同大会を主管校として行った。分科会の司会や接待等にお手伝いをいただいた。

(2) 地域とつながる教育活動について

・東小学校の本校見学の様子(橋本教頭) <スライドで説明>

村上) 近いが生徒が校内に入る機会はなかなかなかった。学校と地域のつながりとして学校が地域に、地域が学校に入っていけたら良い。子どもたちも違う思いや関わりができるようになったのではないかなと思う。

教頭) 3D プリンタ、プラスチック集めなど前回話題になったが、交流の機会をつくる事ができて良かった。地域の方と関わる中で、一人一人が住みよい社会となるよう協議を進めていきたい。今後の教育活動、地域のつながりについてご意見をいた

だきたい。

東小) 地域の方の前庭に椅子がほしいという言葉から発想が生まれた。黄瀬さんからの話があり、前段階としてペットボトルのキャップ集めでゴミを資源にする取り組みをしている。3Dプリンタで「雪だるまキーホルダーをつくろう」を5年生で取り組んでいる。子供の独創性を大切にしながら、岩見沢高等養護が椅子のデザインしたり、一緒のものを集めて業者に送るなどどうかと考えている。

校長) 北大のデモンストレーション参加。

4 協議 「地域のつながりを深め、広げる学校」について

校長) コロナ禍で生徒は外とのつながりが少なくなっている。生徒は3年で巣立っていくので岩見沢とのつながりを根付かせたい。外とのつながりが少ないので、地域に発信し切れていないので来年度は行動に移していきたい。まず、知ることが大事、学ぶ機会を大事にしていきたい。

村上) 東小は開校137年、昔は入徳公園に校舎があった。岩見沢で140年をクリアしている学校はない。節目に学校や地域で市民が来られるような形で何かやりたい。

校長) 岩見沢高等養護学校がなぜここにできたのか、真駒内養護学校から分かれてできたが、なぜこの地なのか。肢体不自由校の歴代校長に聞いてみたい。もう少し東小学校とのつながりを調べてみたい。

内田) 岩見沢高等養護学校が開校のとき、花束を持っていった。

村上) 岩見沢の歴史を紐解き理解しながら、140周年式典で何かできたらよい。ここ東区が岩見沢発祥のエリア、地域への発信、地域を巻き込みながら進めたい。

横山) ゴミの処理の仕方について、現場で見て体験するのは大切なこと、SDGsをどう学んでいくか、学校の勉強とつながるので呼んでいただければ調整したい。

村上) ゴミをテーマにゴミを減らす勉強をしている。4・5・6年生でつながりを持って学習している。

校長) 子どもがやることを決めて、方法論を考える。大人がサポートしていく。来年の3・4月以降に本校で行っていることをアピールしたい。生徒に下ろすのは3・4月以降になる。

<本校の教育活動について要望>

村上) コロナ禍で初任層職員の対面での研修の場がない。若い先生は自前でしか研修を行ってこられなかった。岩高養と7名くらいで研修をしている。中堅、ベテランにも生かしていきたい。授業をどう作っているか共有したい。岩高養の専門の先生とTTで授業をするなど、先生方の交流もしていければと。学校が楽しくやっていると、親も興味を持ってくれる。

校長) 地域の学びは大切、外に出るだけでも違うが、機会を与えられていない。勇気を持って外に出て行くことが地域を作るきっかけになる。地域に根付いていく学校の在り

方を考えていかなければならない。

黄瀬) TT のことで教員 OB に声をかけるのはどうか。

村上) 色々役職を持っていて、敷居が高く難しい。子どもを見守るサポートはできる。

黄瀬) 教育大の学生は？

村上) 忙しい。

校長) 北翔大は学生を各地に送り出している。卒業後特別支援学校で頑張っている人もいる。

横山) 特別支援は能力の高い先生が多いので、生の声を聞かせてほしい。

校長) 「自立活動」のことを、今度お話しさせていただきたい。本校の自立活動教諭が支援級など他校の支援をしている。次回紹介させていただきたい。

教頭) 東小との教職員の交流では、クラブで出前授業などの交流を進めていければと。福祉事業所で作っているものとコラボしながら販売している。インターネットを活用した地域のつながりで何かあったら取り組みを紹介してほしい。

横山) インターネットを活用し、施設内で在所と通所の利用者を違った空間で一緒に仕事をさせている。

黄瀬) どうやって話題性を作るか。通販サイトを作り子どもたちが運営し、教師がサポートする。予算が難しいと思うが。ICT を活用し、遠隔指導で岩見沢と余市の間で農業を行っているが、先生方の交流にも使えるのではないか。農業の担い手がない。岩見沢ワインが盛んになっているが、人が足りない。先生方の立場と同じように。業者とリモートでやりとりをし、販売するのはどうか。

横山) アバターが施設の仮想空間で仕事をしている。大学でも使っていて、学生はアバターで仮想空間に入って授業を受けている。

校長) リアルなつながりとネット空間でのつながり、新しい気づきや学びがあって良かった。色々なところに目を向けて私たち大人も学んでいかなければいけない。町を知る人を知る、自分自身反芻しながら学んでいきたい。今回は、2月上旬を予定している。